

## 【巻頭言】



## 日本VR学会の設立にあたって

会長 舘 暲



平成8年5月27日、日本バーチャルリアリティ学会が誕生した。バーチャルリアリティという言葉が生まれた1989年をVR元年と呼ぶならば、今年はVR暦8年にあたる。

奇しくもVRと暦を同じくする平成のこの日本に、志を一つにするVRの専門家が結集し、VR学会が発足するに至ったことは誠に慶ばしいことである。

振り返れば、バーチャルリアリティという言葉のまだ生れていない、謂わばVR暦における先史のころからも、バーチャルリアリティを目指す研究は、米国そして我が国に於いて人知れず芽生え始めていた。それは、コンピュータインタフェース、CG、CAD、シミュレーション、通信、制御、ロボティクス、画像工学など多くの工学分野のみならず、医療・福祉や、大脳生理学、心理学、社会学、哲学などの学術分野からも湧き上がり、また芸術やメディアをも源流の一つとして、新しい文化の潮流をなすに至った。

その多岐に渡る学術の流れが集り、産業界における実用化への真剣な努力と、国家プロジェクトを通じての国の積極的な取り組みとが結実して、いまVRの新たな大いなる道が拓けようとしている。

そのようななか、世界に魁けて日本VR学会が発足し、VRに関わる工学、理学、医学、心理学、芸術の分野の研究者、技術者、医師、デザイナー、芸術家などの専門家の人々が、学会を共通の場として一堂に会し、研究発表や意見交換を通じて相互に啓発しあいながら、学としてのVRを究めていけることは甚だ意義深いことと言えよう。

この学会が将来にわたり、次世代を担う若い研究者の英知と情熱の発動の場となり、国際的な研究交流を深めながら人類の夢を拓げ、人間の学としてのVR学の健全な発展に大きく寄与していくことを祈念してやまない。

(News Letter No. 1より転載)

舘 暲 (TACHI Susumu)

東京大学工学部教授。工学博士。

ロボット工学、計測制御工学、人工現実感などが専門分野。盲導犬ロボット、トレイグジスタンスなどの研究をおこなう。

1946年1月 東京生まれ。

1968年 東京大学工学部計数工学科卒業。

1973年 東京大学大学院工学系研究科博士課程修了、工学博士、東京大学助手。

1975年 通産省機械技術研究所研究員。その後主任研究官、遠隔制御課長、バイオロボティクス課長。

1979年から1980年 マサチューセッツ工科大学客員研究員。

1989年 東京大学助教授。

1992年 東京大学教授に就任、現在に至る。

IEEE/EMBS学会賞、通商産業大臣賞などを受賞。国際計測連合学会(IMEKO)ロボティクス会議議長、日本バーチャルリアリティ学会会長などを務める。

著者に、「メカトロニクスのはなし」(日刊工業新聞社)、「自然とロボット：盲導犬」(桐原書店)、「バーチャル・テック・ラボ」(工業調査会)、「人工現実感」(日刊工業新聞社)などがある。